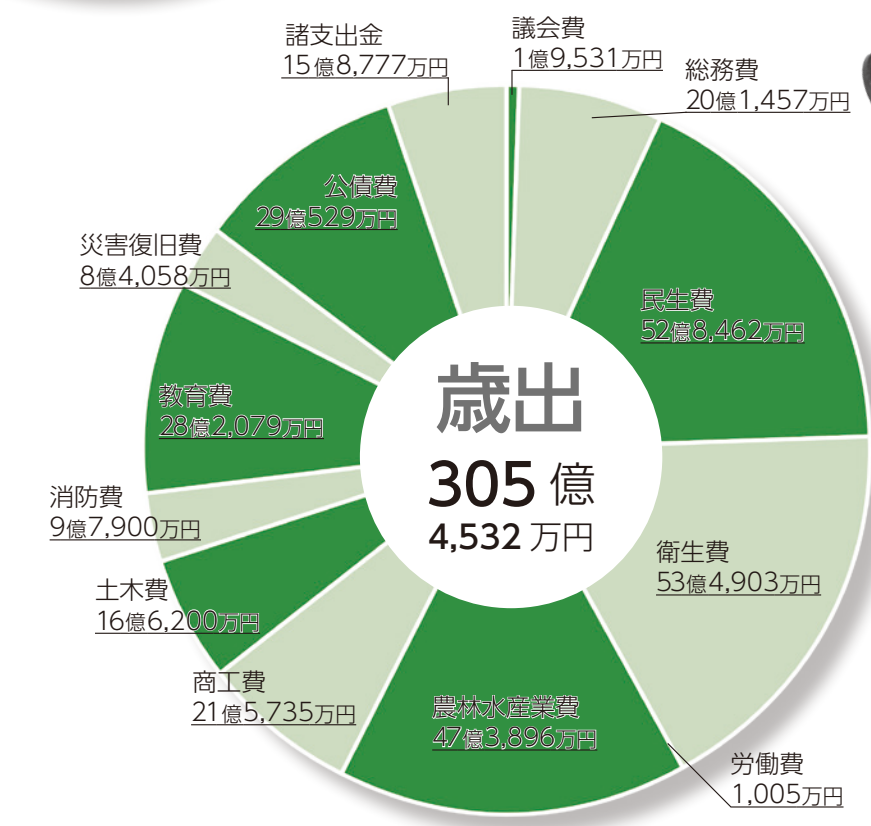
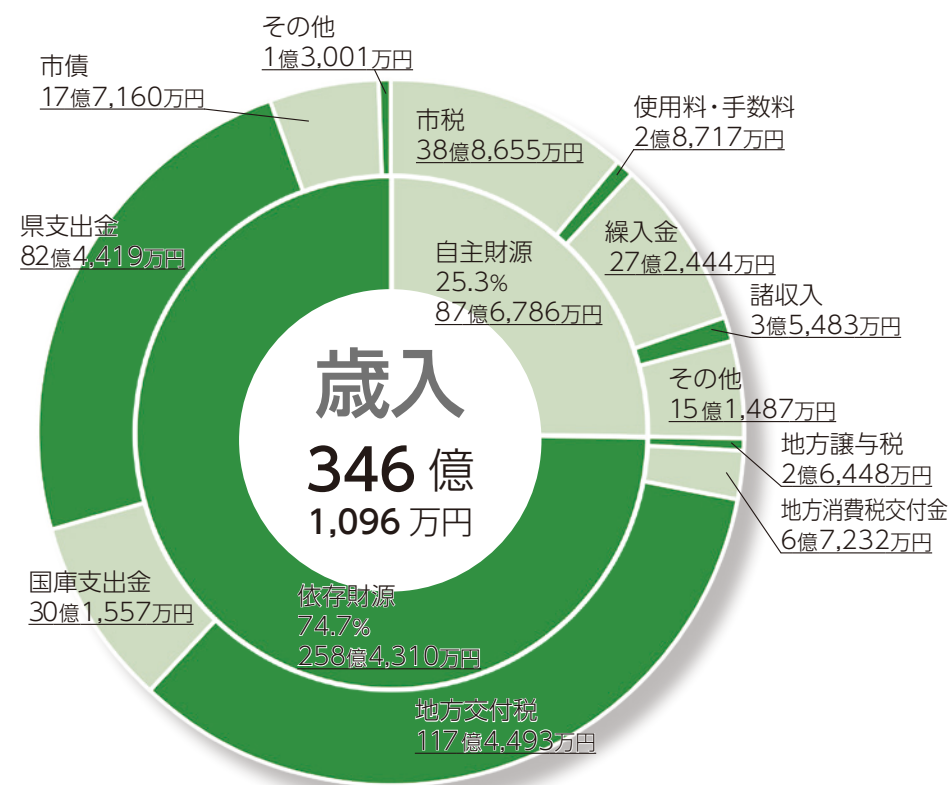


決算報告

皆さんが納めた税金は、この一年間でどのように使われたのでしょうか。一般会計を中心にお知らせします。



市内に多くの被害をもたらした台風19号災害からの復旧や、東日本大震災からの復興に向けた取り組みを進め、歳出決算額は305億4,532万円になりました。また、翌年度へ繰り越す事業で使用する財源32億3,714万円を除いた実質収支は、8億2,850万円となりました。

台風の19号災害対策事業 9億7,441万円

震災復興関連事業で諸支出金が大幅に減少するとともに、台風災害による事業の繰越しなどで、歳出総額では約40億7,469万円減少しました。また、定員適正化計画に基づく職員数の削減により、職人件費は1億5,153万円減少しました。

歳出の状況

震災復興関連事業で諸支出金が大幅に減少するとともに、台風災害による事業の繰越しなどで、歳出総額では約40億7,469万円減少しました。また、定員適正化計画に基づく職員数の削減により、職人件費は1億5,153万円減少しました。

歳入の状況

市税は、固定資産税の復興関連課税免除の終了により過去最高額となりました。普通交付税は、合併に伴う優遇措置の縮減により、約90億68万円減少しました。震災復興関連事業や繰越事業の財源が減ったことで、歳入総額では約13億3,438万円減少しました。

令和元年度の主な事業

総務費	
職員研修事業	1,324万円
防犯対策事業	4,493万円
地域創生総合戦略事業	1,261万円

民生費	
障害者福祉事業	10億5,357万円
子育て支援事業	10億6,841万円
老人福祉施設費	1億7,532万円

衛生費	
健康診査、予防接種等	1億5,638万円
ごみ処理費用	8億9,442万円
除染対策事業	34億1,121万円

農林水産業費	
水田、園芸振興事業	2,075万円
農業農村整備事業等	2億6,283万円
有害狩猟鳥獣捕獲事業	3,145万円

商工費	
プレミアム商品券発行事業	7,343万円
産業団地整備事業	16億8,530万円
観光交流事業	5,083万円

土木費	
道路新設改良事業	4億3,365万円
公園管理費	5,811万円
下水道事業補助金等	4億2,387万円

消防費	
消防団運営費	6,860万円
災害対策費	259万円
広域消防組合負担金	7億4,126万円

教育費	
スクールバス運行費	1億3,490万円
学校教育推進費	9,409万円
体育施設費	8億1,839万円

元年度決算の詳細、2年度予算上半期執行状況、財政健全化判断比率については、市ホームページをご覧ください。総務部財政課までお問い合わせください。

田村市 財政公表

●総務部 財政課 ☎81-2118

たむら市民病院負担金等 事業費：9,727万円



元年7月より、市民の健康保持に必要な医療を提供するため病院事業を開設しました。地域医療における中核的な役割を果たし、将来にわたり安心して医療が受けられる体制を整備していきます。

田村市産農産物 PR 事業費：216万円



生産者・JAなどと連携し、県内外で行われたイベントで、市農産物・加工品の無償配布や試食販売、パンフレット・チラシを配布し、多くの消費者に市農産物と食の魅力のPRしました。

船引小学校校舎増築事業 事業費：3億2,900万円



小学校統合による特別教室不足を解消するため、新たに既存校舎の北側に普通教室4クラスと多目的スペースを増築し、教育環境の改善を図りました。